

# 湖南省少年センターだより

## (湖南省少年センター・あそぶ湖南)



【住所】湖南省石部中央一丁目1番1号 西庁舎別棟2階  
 【悩み相談】Tel 77-7053 FAX 77-7059  
 【e-mail】ask-7053@city.konan.shiga.jp

### 子どもたちの生活を 耐性自立の視点で見直す



湖南省教育研究会  
 小学校生徒指導部会長  
**中 部 哲 也**

#### 耐性をつけること

子どもたちは、他国の子どもと比べるとたいへん豊かな生活の上で暮らしています。食べ物も遊ぶモノも子どもたちの周りには山ほどあります。

しかし、豊かになったのに子どもたちの心にはなんだか不満ばかりたまっているようにも見えます。豊かであれば心も広くなり、人との良好なつながりができてよさそうなのに、キレたり無視したりと人とのつながりはむしろ薄れてきていてコミュニケーションがうまくとれなくなっている様子がうかがえます。どうしてこのようなことが起こるのでしょうか。

子どもたちはあと十年前後で、自立した大人になって社会に出て行くことになりました。その時、**社会のルールに従ったり、周りの人の気持ちを考えて行動したりすることが必ず求められます。** そうしながら、自分の主張をしっかりと述べていくことが社会人ということなのだと思えます。

学校生活はその準備期間で、そ

のための訓練の場です。学級の集団で何かをしたりグループで何かを決めたりすることはその大事な練習です。しっかりと話し合い、みんなで決めたことについてはそれに従ってやってみる、我慢するということも大切なことなのです。では、「勝手に行動をしない。物事を投げ出さない。我慢する。」といった耐性をどのように身につけさせたいのでしょうか。

#### 大人が変われば子どもも変わる

学校の教師も子どもを取りまく大人です。学校では教師の人間力を高めることに加えて、子どもと教師との信頼関係や子ども同士の好ましい人間関係を育てるように留意した教育活動を展開しています。その中で例えば、決められた範囲で自己決定の場を設定したり、共感的な人間関係づくりを大切にしたりするなど、子どもの援助者としてのあり方を考え取組みを進めています。実際には十分に実を結ばなかった点があることも事実

ですが、反省を重ねつつ指導を行っています。

では、家庭での対応はどうしたらいいのでしょうか。  
**「可愛い子どもには旅をさせよ」**

という言葉があります。甘やかさず、年齢に応じた苦しさやつらさを体験することを通して精神力や耐性が育っていくということを示しています。一方で、子どもが勇氣を持って旅に出るためには、嵐にあった時などいつでも帰ってこられる港のような場所になります。家庭がそのような場所になっているか、子どもが安心して居られる場所になっているか、時々振り返ってみたいものです。

また、「子どものしつけは言葉によるべからず、目によりしむべし」という言葉があります。つまり、

### ◎◎ こんな子育てをしましょう ◎◎

- ①いっぱい子どもの話を聞きましょう。
- ②子どもの顔を見ながら聞きましょう。
- ③していることが違ってても、親子で一緒にいる時間を増やしましょう。
- ④スキンシップをしながら目を見て叱りましょう。
- ⑤叱ったあとに抱きしめましょう。

### ■■ こんな子育てはやめましょう ■■

- ①他の子や兄弟姉妹と比較する、比較して叱る。
- ②今のこと以外に過去のことを引き出して叱る。
- ③その日によって叱る基準が変わる。
- ④モノを買ってやることでしか頑張らせていない。
- ⑤(近所の人や先生などの)大人の悪口を子どもの前で言う。

(湖南省教育委員会資料より)

子育ては、言葉だけでしつけるのではなく親自身が見本を示すことが大切であるということになります。さらには、子どもは親自身の日常の言動や生き方を見て真似ていくことになりやすいため、親自身が生き方を考えていくのも大切であるということになります。左にある「こんな子育てをしましょう」リストを参考に真直しをされてはいかがでしょうか。

実際の所、子育ては山あり谷ありです。心配なことがあれば、早めに学校や園、少年センター等に相談されることをおすすめします。

今後とも、地域、保護者の皆さんと学校とで子どもが健全に育つ社会を築いていければと思います。(なかむらてつや・下田小学校長)

